

「ぐんま中高校生のための部活動改革ワークショップ」

令和6年7月13日(土)午後から高崎市のGメッセ会議室において表記のワークショップを開催しました。今回のワークショップの特徴は、参加者の募集方法とワークショップのやり方を中高校生達が学べるように講師を招いたことです。

参加申込者は22名、当日参加者：20名(高校生9名・中学生11名)でした。

開催を知らせるパンフレットのQRコードを読み込んで、自主的に申し込んでもらう方法としたので、主催者としては参加してくれる中高校生がいるのか?とても不安な状況でした。

また、参加してくれる中高校生がリラックスできる環境づくりとして、中高校生が好きそうな音楽を流して、このワークショップに関わる大人もポロシャツでリラックスして参加しました。

【当日のスケジュール】

- ・オリエンテーション
- ・自己紹介
- ・基本情報提供
部活動地域移行について国と県の動き
- ・話し合いのレクチャー
- ・休憩
- ・グループワーク1
「今の部活動、放課後の過ごし方 どう思う?」
- ・全体共有1
- ・グループワーク2
「これからの部活動、放課後どうなって欲しい」
- ・全体共有2
- ・講評



「NPO 法人きたのわ」
宮本ファシリテータと高橋グラフィッカー
自主的な参加してくれた中高校生と記念撮影



自主的に参加申し込みをして参加してくれた中高校生が活発な議論を真剣に行っています。

会場は、中高校生がリラックスして意見交換できるようにバックミュージックを流してお菓子を食べながら議論してもらいました。このようなディスカッション方式は、ドイツでは普通に行っている方式です。



参加者並びに小山・小林両指導主事と小出総括コーディネーターの似顔絵とワークショップの目的、なぜ、今、部活動が地域へ移行するのか等を説明して、中高生たちが自由に意見を述べるができる環境があることを示していただきました。



1. グループワーク1 代表的な意見
 テーマ【今の部活動、放課後の過ごし方、どう思う】
- (1) 好きなどころ
- 同学年や他学年との交流
 - 技術向上やチームワークを学べる
 - 平日と休日の活動時間が決まっている
- (2) 嫌なところ
- 顧問が練習に来ない
 - 少人数のため、できることに制限がある
 - 部員の熱意による取り組みの差
 - 練習時間が限られている
 - 休みがない
 - 活動場所が狭い
- (3) 気になるところ 何とかしたいこと
- 学校によって活動時間が違う
 - 部活以外のスポーツクラブに行っている子(クラブチームとの二重登録)が多い
 - 使える部費を増やしてほしい

2. グループワーク2 代表的な意見
 テーマ【これからの部活動、放課後どうなって欲しい】
- (1) 指導者について
- 顧問・専門外の顧問をなくす
 - 顧問の複数部の受け持ちをなくす
 - 外部指導者
 - ・専門家に教わりたい
 - ・外部指導者は、きちんとした人か心配
- (2) 練習について
- スケジュール
 - ・休みたいときに休みたい
 - ・自分たちのスケジュールを聞いてほしい
 - 目標別
 - ・同じ目標を持った人とやりたい
 - 交流
 - ・他校や高校生、地域の同じスポーツの人と一緒に練習したい
 - 掛け持ち
 - ・1つだけでなくいろいろな部活に入りたい

※ 当日の概要は、県教育委員会から市町村教育委員会へ資料として配信します。